

平成26年10月5日
今週のベストショット



奈多グラウンド 三苦ホーネッツ 対 レッドサンデーズ戦

最終回、1点差に詰め寄ろうかとするレッド砂場選手をホームタッチアウトするホーネッツ広木捕手。

写真：三友クラブ 大坪和則

奈多グラウンド チャンスに確実に得点したホーネッツが勝利！

三苦ホーネッツ（9勝1敗1分）0033 6 矢野○-広木

レッドサンデーズ（8勝4敗）2002 4 江口●-荒口

3BH：砂場（三苦ホ） 2BH：堺、松尾（三苦ホ） 盗塁：江口（レッド）山崎（三苦ホ）

現在一位の三苦ホーネッツと四位のレッドサンデーズとの試合となった。先発はホーネッツ矢野投手、レッド江口投手。ホーネッツ先攻で試合は始まった。初回ホーネッツは相手内野エラーと送りバントで二死二塁とするもあとが続かず無得点。その裏、レッドは、一二番が四球を選び、三番荒口選手の送りバントを矢野投手が焦って処理できず無死満塁と先制のチャンスとなった。ここで四番八島選手が打席に入るが、矢野投手が踏ん張り三振に打ち取る。そして五番神田選手は、矢野投手の速球を振りぬいてショート後方に打球が飛ばす。ホーネッツショート稲葉選手がこの打球に懸命に飛び込むが惜しくもボールに届かず、二人が返ってレッド2点を先制。二回表、ホーネッツは六番今田選手がレフト前ヒットを放つが後が続かず得点することができない。二回裏、レッドは八番壱岐選手がライト前を放つと九番田浦選手が確実に送りバントを決め一死二塁。そして一番江口選手がセンター前に球を弾き返し二塁ランナーが返るかと思われたが、ホーネッツセンター山崎選手が本塁に好返球を返しタッチアウト！追加点を与えなかった。三回表、追いつきたいホーネッツは先頭の九番堺選手が一塁線を抜

ける二塁打を放つ。一死一三塁となって三番矢野選手はショート横に鋭いヒットを放ち1点を返す。続く四番広木選手に対しレッド江口投手は踏ん張り、三振に討ち取り二死一二塁。ここで五番松尾選手は期待に応える左中間へのタイムリーを放ち1点。続く六番今田選手もレフト前タイムリーで更に1点を追加。二塁ランナーもホームを狙うがここはレッド前田左翼手の好返球でタッチアウト！この回ホーネットスが3-2と逆転した。三回裏、レッドは同点に追いつきたいが三人で攻撃を終わる。四回表、ホーネットスは七番前園選手が四球を選ぶと八番三浦選手が送りバントで二塁に進める。九番塚選手が放った打球は右中間へのフライだったが野手のグラブから球がこぼれ、一死一三塁。ここで一番山崎選手はライト前タイムリーを放ち1点を追加。その山崎選手は盗塁を決め、その際に三塁ランナーがホームを突き更に1点を追加。その後、相手のエラーも絡みホーネットスはこの回3点を追加する。四回裏、レッドサンデーズは二死となって九番田浦選手は粘って内野エラーで二塁に進む。そして一番江口選手はレフト前ヒットを放ち二死一三塁とチャンスを広げる。ここで二番砂場選手はショート横にライナーを弾き返す。打球はグラブに当たって右中間に転がり、三塁ランナーが返り、一塁ランナーも生還。打った砂場選手も本塁を狙うが返球タッチアウト！ここでタイムアップ、ゲームセットとなった。両投手の好投により緊迫感がある試合になったがチャンスで確実に得点を重ねたホーネットス打線は見事だった。

(記事：三友クラブ駄原孝一郎、写真：大坪和則、八尋豊)



レッドサンデーズ先発の江口投手。



三苦ホーネットス先発の矢野投手。



一回裏、ショート後方に先制の2点タイムリーを放つレッド五番神田選手。



一回裏、神田選手の打球に飛び込むホーネットスショート稲葉選手。



二回表、レフト前ヒットを放つホーネッツ今田選手。



二回裏、確実なバンドを決めるレッド田浦選手。



三回表、タイムリーヒットを放つホーネッツ矢野選手。



矢野選手の打球を懸命に二塁にトスするレッド砂場遊撃手。



三回表、期待に応えるタイムリーヒット、ホーネッツ松尾選手。



堅実なプレーで笑顔で迎えられるホーネッツ塚選手。



四回表、ライト前ヒットを放つホーネッツ山崎選手。



四回表、左中間の大飛球を好捕するレッド八島選手。



四回裏、レフト前ヒットを放つレッド江口選手。



惜しくも本塁でタッチアウトのレッド砂場選手。

青松園A サンデーズ木下投手ノーヒットノーラン達成？

三苦三球会 (6勝5敗0分) 000000 0 吉留●ー藤澤

奈多サンデーズ (9勝1敗1分) 03000X 3 木下○ー田中

HR: 野々下 (奈多サ)

一回裏奈多サンデーズは、一番川上選手がしぶとく四球を選びセカンドへ盗塁を試みるが、三苦三球会藤澤捕手の強肩に射されチャンスを潰す。二回裏サンデーズは、五番長浜選手の絶妙なセーフティーバントで出塁すると、六番野々下選手はツーストライクと追い込まれながらも、見事に吉留投手の直球を捕え、青松園Bグラウンドへ叩き込む特大2ランHRで2点を先制し、さらに一番川上選手のセンター前ヒットで1点を追加する。一方、三球会は木下投手の狙い球を絞れず三回まで三者凡退であったが、四回一死から二番藤澤選手が四球を選びチャンスを作るも、あと1本が出ず無得点に終わる。サンデーズ木下投手は、六回までノーヒットノーランで三球会打線を抑え、最終回を迎える。最終回三球会は、一死後四番塚(太)選手が四球を選び、五番塚(和)選手は一塁ゴロで二死一塁の場面で、六番石山選手の放った打球はセンター前にポトリと落ちるヒットで、五番塚(和)選手は懸命に三進を試みるが、センター川上選手の好返球でタッチアウトとなりゲームセット。今日の試合は、両投手の好投で試合展開が早く、久々に七回フルイニングまで試合が進み、ワンチャンスを物にしたサンデーズに軍配が上がった。(記事、写真: 和白新町パイレーツ 石橋 登)



惜しくもノーヒットノーランを逃した木下投手。



サンデーズ打線を3安打に抑えた三球会吉留投手だったが・・・。



二回裏、特大ホームランを放ったサンデーズ野々下選手。



ちょっと遠慮がち？ノーヒットノーランを阻止した三球会石山選手。

雁ノ巣軟式7 奈多フェニックス投打に圧倒！

塩浜ジャガーズ (4勝8敗0分) 00000 0 荒木●-堀内
 奈多フェニックス (6勝4敗1分) 8006X 14 池見○、今林(勇) -西藤

HR: 今林(勇) (奈多フ) 2BH: 沖(奈多フ)

塩浜ジャガーズは初回到二死から三、四番の連打でチャンスを作るも、後一本が出ずにチャンスを生かせず。その裏奈多フェニックスは、連打で先制点を奪うと、ジャガーズ守備陣の乱れを誘いエラー・タイムリーなどを絡め一挙に8点を奪い試合を優位に運ぶ。二回表ジャガーズは、先頭打者がヒット、パスボールなどで三塁まで進み反撃を見せるが、池見投手の前に連続三振を奪われチャンスを逃す。二、三回とジャガーズ荒木投手の制球が戻り要所を締め流れを取り戻すピッチングを見せるが、三回からマウンドに上がったフェニックス二番手今林(勇)投手が流れを渡さない好リリーフを披露。互いに無得点が続き迎えた四回裏、フェニックス沖選手の一振りで試合が動く。ランナーを一塁において追い込まれながらも左中間への二塁打で追加点を奪うと、その後の連打で3点を追加し仕上げは今林(勇)選手のHRで計6点を取り試合を決定付けた。最終回、何とかしたいジャガーズ打線だが今林(勇)投手のスライダーに打つ手なく試合終了となる。この日、今林(勇)投手のスライダーは抜群に良く、打っても芯を外され凡打になるといったケースが見られこの球種には注意しておく必要があるようだ。(記事、写真: 奈多クラブ 吉田貴史)



台風18号の影響で曇り空の下、試合開始の挨拶。



フェニックス先発の池見投手。



ジャガーズ先発の荒木投手。



フェニックス西藤選手、先制のホームイン！



二盗を決めるフェニックス今林（心）選手。



走りまくったフェニックス今林（心）選手。



四回表、三遊間ヒットを放つフェニックス一番西藤選手。



この日三安打のフェニックス二番山村選手。



四回表、3ランを放ったフェニックス三番今林（勇）選手。



フェニックス七番沖選手の一打！



一矢報いるジャガーズ打線 1



一矢報いるジャガーズ打線 2

青松園B 初勝利をかけた戦いの軍配は・・・三苦2区フレンズに！！

三苦フレンズ (1勝11敗) 18211 13 山口○-佐藤
 ブルーマーリンズ (0勝12敗) 00002 2 末松●-谷山・安部

2BH: 寺山、佐藤 (三苦フ) 盗塁: 生野3、御手洗2、田中

一回表、三苦フレンズ一番生野選手が四球で出塁し、二盗、三盗で無死三塁のチャンスになり二番田中選手のサードゴロの間に難なく1点先制し、幸先のよい立ち上がりとなった。一回裏のブルーマーリンズの攻撃も先頭末松選手が四球を選び、似た展開となったが、2三振を含む三人でピシヤリとフレンズ山口投手が抑える。すると、二回表に山口投手を援護するかのよう、四球、相手のエラーと長短打4本の打者一巡の猛攻で8点追加する。二回裏、追加点で落ち着いた山口投手が圧巻の三者連続三振でブルーマーリンズの勝気を断つ。三回表も相手エラーなどで2点追加したフレンズが勢いに乗る。ブルーマーリンズの反撃もここまでかと思われたが最終回到2本のヒットと相手エラーで2点奪取するも終わってみれば、打っては毎回得点の13点、投げては被安打3、奪三振9個の好投を見せた山口投手率いるフレンズが今季初勝利を引き寄せた。勝利の女神??ならぬ男神亀井選手の初出場が幸いしたのかも・・・。(記事、写真:ソルトベイスターズ 中村)



今季初出場で男神の亀井選手！！



最終回、円陣を組むブルーマーリンズナイン。



代打の切り札浜崎選手を見事三振！！フレンズ山口投手。



初勝利の立役者フレンズ若手軍団！！

第22週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第22週、10月5日は4試合が行われました。

奈多グラウンドの三苦ホーネッツ対レッドサンデーズ戦は、レッドが初回に一死満塁から五番神田選手のショートオーバー2点タイムリーで先制するも、三回、四回と連続で3点を入れたホーネッツが最終回守備の乱れがあったものの6-4で逆転勝ち。これで4敗となったレッドは優勝の芽が完全に無くなった。

青松園Aの三苦三球会对奈多サンデーズ戦は、両チーム合計4安打という投手戦だったが、二回裏に放ったサンデーズ六番野々下選手の2ランと一番川上選手のタイムリーで挙げた3点を木下投手が1安打完封で守り切り0-3でサンデーズの勝利。三球会吉留投手にめっぽう強い野々下選手の打球は青松園Bのセカンド付近まで飛んだそうです。木下投手は七回二死からヒットを打たれるという彼らしい一面が出たが、ナイスピッチングでした。

雁ノ巣軟式7の塩浜ジャガーズ対奈多フェニックス戦は、一回表に二死一二塁のピンチを抑えたフェニックスは、その裏に4四球5安打を集め8点を奪うと、13安打で14点。投げては池見、今林勇太投手の3安打完封リレーで0-14の勝利。この試合フェニックス二番山村選手、三番今林勇太選手、九番今林心一選手が3安打。

青松園Bの三苦フレンズ対ブルーマーリンズの全敗同士の対戦は、初回に無安打で1点を挙げたフレンズが二回表に4安打3四球で8点を追加すると、毎回得点の13点を奪い、投げては山口、生野拓磨投手の同級生リレーでブルーマーリンズを2点に抑え13-2で今季初勝利。この試合女房役のフレンズ三番佐藤選手が3安打。一方ブルーマーリンズは八番森選手が2安打と気を吐いた。残り1試合の両チームは最終戦で勝ち星を増やせるか？

第22週を終えて、優勝争いは9勝1敗1分の三苦ホーネッツ、奈多サンデーズにほぼ絞られた状況。3敗の雁ノ巣ライナーズ、奈多クラブにも優勝、プレーオフの可能性はあるが、どちらも残り全勝して、上位2チームが全敗が絶対条件のため、ちょっと苦しいか？

ここにきて断然有利なのがホーネッツ。フェニックス戦はあるものの、ここまで勝ち星のないブルーマーリンズ戦を残している。一方奈多サンデーズは、奈多クラブと意外と接戦になる三友クラブ戦が残っている。

兎にも角にも、10月12日に各校区体育祭でリフレッシュして、全チーム残り試合を完全燃焼して欲しい。ただ台風が・・・。